



れました。昨年9月に着手され異例の速さで誕生しました。さてデジタル庁が取り組む最初の仕事はマイナンバーカードが健康保険証として本格運用されること。さらに2022年度中にはマイナポータルを使い役所に行かなくても、保育施設の利用申し込み、要介

護認定の申請、転出届提出、パスポートの更新手続きなどが可能に。マイナポータルへの口座登録でいろいろな給付金が自動支給に。またマイナンバーカード情報を搭載したスマートフォンからの行政手続きが可能に。学校健康診断データの閲覧も可能に。さら

に運転免許証とマイナンバーカードが一体化。2025年には全自治体のシステムが標準化されるそうです。個人情報保護は手厚くお願いしたいものですが、大変便利になりますね。ちなみにマイナポータルとは政府が運営するオンラインサービスです。

# ドラゴンへの階段 第29回

(連載エッセイ版)「さあ、いよいよ飛び立ちます！」

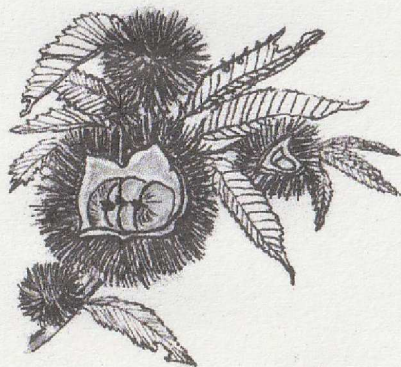
佐藤 洋祐

皆さん、こんにちは！こうして毎月の書き物の度に感心するのは、二十四節気など、先人の遺してくれた歳時記のその豊富なデータに基づく正確さと、彼らの観察力の鋭さ、知恵の豊かさ、です。近年の人間活動による急速な環境変化で、今後この歳時記の内容が私たちの実生活に合わないことが出てくるかも知れませんが、その時にはこの素晴らしい遺産を通じての警告を感じ取る感受性を持ってほしいもの、と己に言い聞かせています。

さて！「3年の間に(2022年まで)に、自分の愛するジャズを演奏して日本レコード大賞受賞を獲るぞ！」と、この場にて宣言をいたしました。早2年半。宣言にあたり、どのように3年間活動して行くかの指針を、中国の古い書物「易経」の中に登場する龍の一生の記述に求めたことがあります(連載の第2回目です)。

龍は水の底で力をたくわえ(潜龍の段階)、社会を見聞し方針を固めて(見龍)、いつかタイミングを見計らって空へ飛び上がり(躍龍)、うまくいけば自分の志をはたして大空を駆けまわり(飛龍)、やがては次の世代に己の意志を託し水に降りる(亢龍)という一生をおくります。

これまでの2年半を潜龍・見龍の時期とし、自分の仕事(ジャズを演奏するサクソ奏者)とは別に、日本のポップスを聴き、歌を唄い、その伴奏法を学び、どのようにしてポップアーティストの方々からリスナーと心を通わせているのかを私なりに考えました。



挿絵 TAKAKO

その時間は多少の困難はあれ、私の音楽のみならず人間そのものを成長させてくれるたくさんの収穫と、応援してくださる方の温かな愛に満ち、有難い時間でしたが、それは次の躍龍の段階に入るための大事な糧です。もちろんこれから多くを学び、観察し、よくよく方向を見定めながら自分の夢チャレンジを進めて参りますが、今ここで、自分の段階を一つ上に進めて、天に向かって泳ぎ始める昇龍としての活動にシフトさせて行くことを決意いたしました！

つまり、自分の仕事の場に、少しずつながらも自分の夢を登場させて行きます。来る10月の月初、銀座のあるお店での演奏会を「昇龍チャレンジ」のスタートに決めました。(ここで宣伝はいたしません、ご興味のある方は私のウェブサイトなどご覧いただけましたら幸いです)スタートに付き合ってくれるいずれもジャズを演奏するピアニスト、ベーシスト、ドラマーの3人と、ジャズでありながらもジャズに親しみのない方にも楽しめる内容に細心の注意をはらいながら進めようと心に決めていきます。日本のポップスを主に多くの方々から愛される曲を選び、お聞きになるのが難しいこともあるアドリヴソロなどの配置・配分に気を付けながら、それでいて演奏者の主張のある・・・難しいチャレンジになりますが、なんとという大きなやりがいでしょう！

今回のスタートでは、私はサクソ、そしてそれ以外の管楽器に専念します。歌の存在は間違はなく私の夢の実現に強力な武器となってくれますが、今の段階で私の歌は私の期待するだけの力を持っていません。その時が来るかも知れませんが、これから誰かシンガーの方とよい出会いがあるのかも。いずれにしても、良い音楽良いスタートにしてまいりたいと思います！

佐藤 洋祐 (サトウ ヨウスケ)  
ジャズミュージシャン。サクソ奏者としてグラミー賞を2度受賞。2015年末より佐倉市在住。2019年よりシンガーとしても活動を開始。